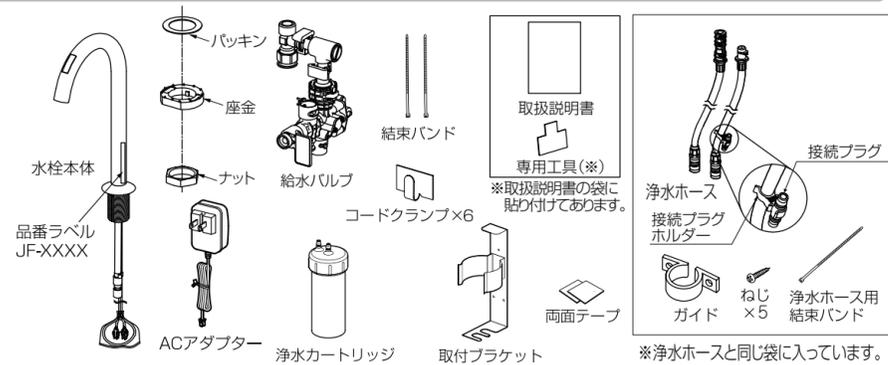
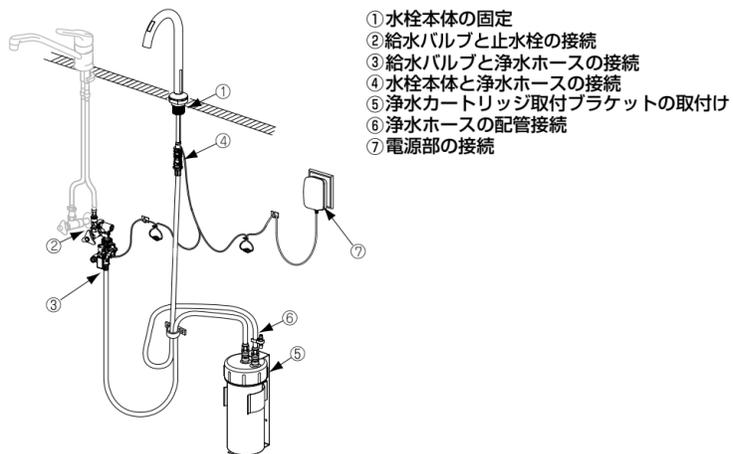


部品の確認



2. 施工手順



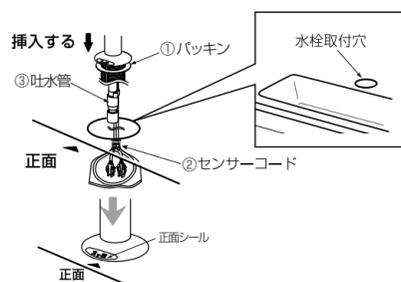
3. 施工方法

1 水栓本体の固定

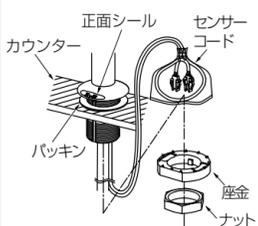
1. 水栓本体にパッキンを取り付け、センサーコードを先に水栓取付穴に挿入し、続いて吐水管を挿入する。正面シールが正面を向くように水栓取付穴に挿入する。

注意

センサーコードをはさまないようにしてください。
※コードが破損し、発火・ショート・感電の原因となります。

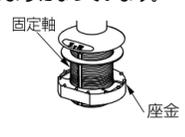


2. 座金にセンサーコードを通し、座金を固定軸に挿入してナットで締め付ける。

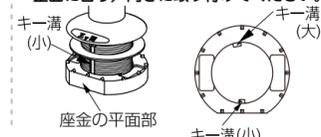


ポイント

●座金から手を離しても落ちてこないように、一時的に固定軸に引っ掛けられるようになっています。

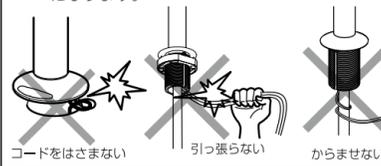


●固定軸にキー溝(大、小)があるため、座金をキー溝に合う(平面部が水栓本体の正面に合う)向きに取り付けてください。



注意

●センサーコードをはさみ込んだり、引っ張ったり、吐水管にからませないでください。
※コードが破損し、発火・ショート・感電の原因となります。



●専用工具(KG-9)を使用してください。
※ナット締付不足によりガタつきやキャビネット内への漏水の原因となります。

3. 正面シールをはかしてください。

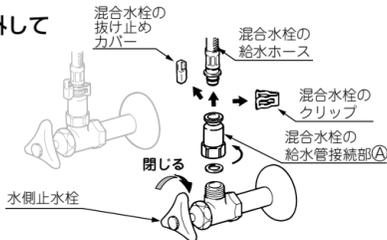


2 給水バルブと止水栓の接続

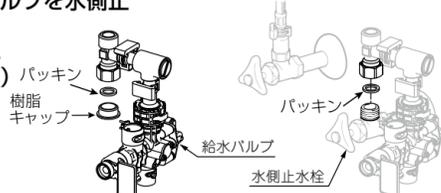
1. 水側止水栓を閉じて混合水栓の給水管接続部(A)を外してください。
※混合水栓の施工説明書を参照してください。(図の商品品番はSF-NA451Sの場合です。)

注意

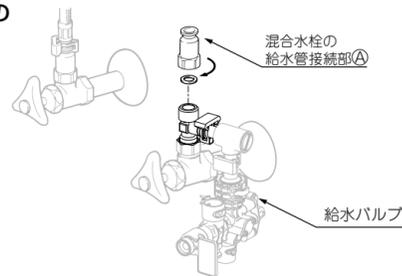
パッキンの紛失に注意してください。
※漏水の原因となります。



2. 給水バルブの樹脂キャップを外して、給水バルブを水側止水栓の上に取り付けてください。
※混合水栓の施工説明書を参照してください。(図の商品品番はSF-NA451Sの場合です。)



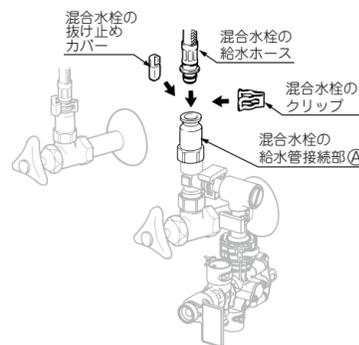
3. 2で取り付けた給水バルブの上に、混合水栓の配管接続部(A)を取り付けます。



4. 混合水栓の給水管接続部(A)に、混合水栓のフレキホースを差し込み、クリップと抜け止めカバーを取り付けてください。

注意

●Oリングにキズをつけたり、ゴミかみをさせないように注意してください。
漏水の原因となります。
●給水ホースを曲げる場合は、曲げ半径を30mm以上確保してください。
無理に曲げるとホースが損傷し、漏水の原因となります。



3 給水バルブと浄水ホースの接続

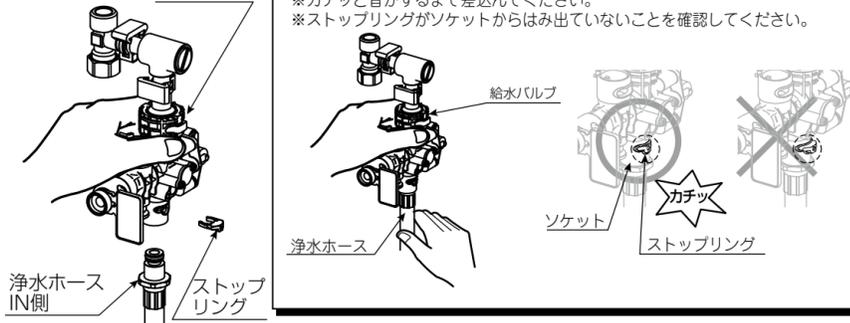
1. 浄水ホースIN側についている保護キャップとストッピングを外す。



2. 給水バルブを手で持ち、浄水ホースIN側を給水バルブのソケット部に差し込み、ストッピングリングで固定する。

ポイント

給水バルブを手で持ち、浄水ホースを挿入した後、ストッピングをしっかりとはめ込んでください。(ストッピングが外れると漏水の原因となります。)
※カチッと音がするまで差込んでください。
※ストッピングがソケットからはみ出していないことを確認してください。



注意

ストッピングは、しっかりとめ込んでください。
※ストッピングが外れると漏水の原因となります。

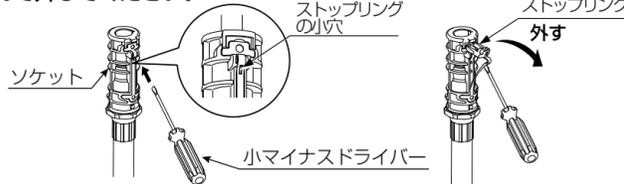
確認

浄水ホースを引っ張っても抜けないこと。

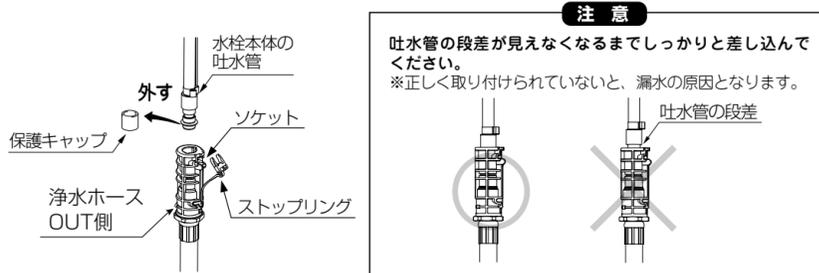
4 水栓本体と浄水ホースの接続

ソケットについているストッピングの上側と吐水管の保護キャップを外してソケットに差し込み、ストッピングをソケットにはめてください。
※正しく取り付けられていないと、漏水の原因となります。

1. ソケットのストッピングの上側にあるストッピングの小穴に小マイナスドライバーを差し込んで外してください。



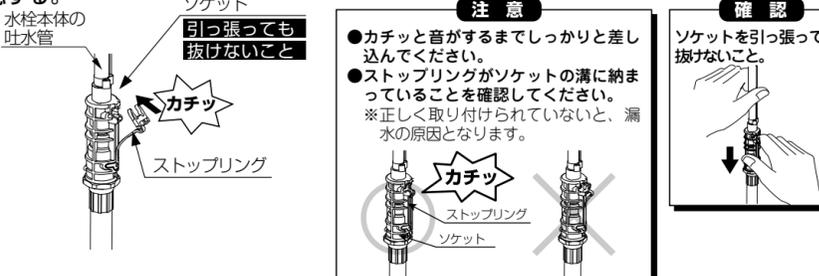
2. 浄水ホースOUT側のソケットを水栓本体の吐水管に差し込む。



注意

吐水管の段差が見えなくなるまでしっかりと差し込んでください。
※正しく取り付けられていないと、漏水の原因となります。

3. ストッピングをソケットに差し込んだ後、ソケットを引っ張っても抜けないことを確認する。
水栓本体の吐水管



注意

●カチッと音がするまでしっかりと差し込んでください。
●ストッピングがソケットの溝に納まっていることを確認してください。
※正しく取り付けられていないと、漏水の原因となります。

確認

ソケットを引っ張って、抜けないこと。